

令和7年度 受講者選考試験のねらい

認定看護師教育において摂食嚥下障害看護分野に関する高度な実践、相談・指導を学ぶ前提となる、基礎的知識・技術・態度などの準備が、ある程度以上整っており、本教育課程受講期間中の学修によって日本看護協会の定める資格認定審査基準に到達できる見込みがあること、および資格取得後に認定看護師として自己研鑽を継続し活動できる可能性があることを確認するため以下の試験を行う。

1. 筆記試験

1) 小論文

与えられたテーマについて具体的にかつ論理的に記述する力を問うた。テーマには「看護師」や「認定看護師」または「摂食嚥下障害看護」にかかわるものを選定した。

教育課程における学修や認定看護師としての活動を支える力として、看護に関する考え方や、問われている内容を正確に理解し答えること、自分の意見をまとめ論理的に示すこと、正しい日本語表現を用いて作文する文章力を確認した。

2) 専門科目

高度な摂食嚥下障害看護を学修するうえでの準備状況を確認した。摂食嚥下に関わる解剖生理と原因疾患の病態生理など、専門分野を理解するための基礎知識、および看護を提供するために必要なアセスメント力、リスクマネジメント力を確認した。

その他、特定行為研修の共通科目および本教育課程の特定行為研修区分別科目である「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」に関する基礎知識を問うた。

2. 面接試験

認定看護師として「高度な実践」「相談」「指導」にあたる際に必要となる言語的・非言語的コミュニケーション力、人に向き合う際の倫理的配慮等の準備状況を確認した。

1) 個人面接

本教育課程の受講動機や認定看護師としてのビジョン、専門職業人としての自律性とストレス耐性、受講期間中の組織のサポート体制などの準備状況を確認した。

2) 参考資料

日本看護協会認定審査受験資格と修了後に認定看護師として活動できる準備を確認するため、以下の書類を面接試験の参考とした。

- * 履歴書、実務研修報告書
- * 志望理由書
- * 事例報告書